

あけぼの旅館



指定区分	国登録有形文化財(建造物)
読みかた	あけぼのりょかん
所在地	津山市戸川町
指定年月日	平成12年4月28日
解説	もとは「あけぼの楼」と称し、建築年代は明治初期と考えられて、津山市内に現存する旅館の中では最古の旅館建築と言われる。明治41年(1908)には乃木希典夫妻が宿泊。戦後の道路拡張の際に、表の2階部分が1階に改築されたが、奥の2階部分は、水廻りを除いて旧態を残しており、床飾り・欄間・天井などの数寄屋[すきや]風書院造の造作は、明治時代の格式ある旅館の特徴を現代に伝えている。旧城下町のたたずまいを残す地区の一画にあり、景観的にも重要である。
アクセス方法	
公開状況	旅館として使用しているため一般公開されていません
設備	
備考	